

# 精神疾患・うつ病

【主催・企画】

岐阜大学大学院

医学系研究科

【後援】

岐阜県・岐阜県教育委員会

岐阜市・岐阜市教育委員会

毎年ご好評をいただいております岐阜大学医学市民講座の今年のテーマは「精神疾患・うつ病」です。1998年以降、日本では毎年自殺者が3万人を超え、先進諸国中最悪となっております。自殺実態白書2008でも、自殺の最大の要因がうつ病であることが明らかとされており、その対応および対策が急務となっております。精神科診療の第一線で活躍中であり本学医学部の講師三名が、本症を「診断」と「治療」の視点からわかりやすく解説し、時間の許す限り皆様の疑問・質問にお答えいたします。今回の医学市民講座から「うつ病」に対する理解を深めていただけましたら幸いです。多数の皆様の御参加をお待ちいたしております。

**日時** 平成22年10月3日(日)

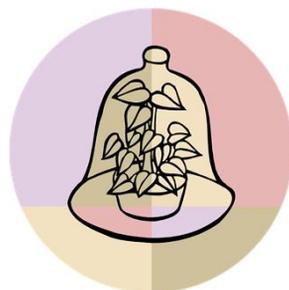
**会場** 岐阜大学医学部記念会館  
2階ホール(岐阜市柳戸1番1)

**講師・講義案内** 裏面参照

**受講対象者** 一般社会人

**定員** 150名

**受講料** 無料



## 申込方法

### ①メールでの申込方法

件名に「岐阜大学医学市民講座受講希望」、本文に氏名・電話番号を明記の上、[igakubu@gifu-u.ac.jp](mailto:igakubu@gifu-u.ac.jp)へメールを送信下さい。後日、受講申込書(word)及びパンフレット(PDF)を返信しますので、受講申込書に必要事項を入力の上再度送信下さい。

### ②郵送での申込方法

直接下記申込先へ郵送して下さい。受講申込書は、医学系研究科・医学部総務係及び本学の各学部等にあります。また、岐阜大学医学部ホームページ(<http://www.med.gifu-u.ac.jp/>)からも受講申込書をダウンロードできます。なお、受講申込書の入手が困難な場合は、氏名(ふりがな)、性別、現住所、電話番号、過去の受講歴、職業、年齢を記入したものを直接下記へ郵送下さい。なお、郵送される際は、返信用封筒(長型3号・80円切手貼付)を同封願います。

**申込期間 8月2日(月)から9月24日(金)**

○申込みに関わる個人情報につきましては、講座実施のための資料として以外は使用いたしません。

○定員になり次第、締め切らせていただきます。

○テキストは当日配布します。

○受講された方には、修了証書をお渡します。

○車でお越しの方は、病院の外来駐車場を御利用願います。

申込み  
問合せ

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学医学系研究科・医学部 総務係  
TEL 058(230)6051(直通)

<電話受付時間>9時から16時まで(土・日・祝日・8/12~13を除く)



成功させよう!



# <講師・講義内容>

○13:30～ 開講

○13:35～14:15

## 職場とうつ

医学部附属病院  
精神神経科

准教授 植木 啓文  
(うえき ひろふみ)



職域においては、働きすぎによる過労死事例、パワハラやセクハラなどの人間関係からうつ病を発症した労災事例などが、最近マスコミに盛んに取り上げられるようになってきました。確かに、最近の経済情勢の悪化により、正社員が減少し、一方では、パート社員や派遣社員が増加することの結果として、効率化の追求により個々の労働者の仕事量の増大が顕著になってきました。それに伴って社内での人間関係の希薄化が進展し、互いの心を思いやる余裕のない時代に私たちは生きていると言えます。

本講座では、職場で生じるうつ病の原因と予防、症状の特徴、早期発見と初期対応、職場復帰を目指した支援の在り方などについて、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

○14:15～14:55

## 大学生世代の抑うつ

保健管理センター

准教授 田中 生雅  
(たなか みか)



大学保健管理センターは大学の保健室機能を担っており、メンタルヘルス相談窓口も開設しています。全国調査で大学生の学生相談来談者数はこのところ増加傾向にありますが、当大学でも同様の傾向があります。また精神科医療機関を受診する学生も年に100名近く存在します。大学生世代の抑うつには、日常生活の悩みから生じるものから、自殺の危険のある抑うつまであります。本講座では、若い世代の呈する抑うつ状態や自殺の背景、気分障害や摂食障害、人格障害、発達障害等、抑うつ状態を呈する様々な精神疾患についてわかりやすくお話します。

○14:55～15:10 休憩

○15:10～15:50 うつ病の診断と治療

医学系研究科  
精神病理学分野  
教授 塩入 俊樹  
(しおいり としき)



2009年の我が国の自殺者数は、12年連続3万人を超え、人口10万人当たり24.4人、なんと世界第6位の自殺大国であります。さらに、自殺者の98%は何らかの精神疾患に罹っているという報告もなされております。このような背景を受けて、近年我が国では心の病気への関心が高まり、“うつ病”や“適応障害”、“パニック障害”や“アスペルガー障害”等の病名は、市民権を得たといっても過言ではありません。しかしながら、一方に、これらの病気に関する不十分な理解や間違った知識がもとで、様々な問題が生じているのも事実です。そこで、本講座では、「精神疾患・うつ病」と題して、まず社会人や大学生のうつ病の実態をお話しし、最後にうつ病の診断と治療について、最新のデータを基にわかりやすく解説したいと思います。

○15:50～16:20 質疑応答・総合討議

○16:20～ 閉講